

---

## Avid、HDR対応のMedia Composer新バージョンをリリース

---

～ HDRワークフローのサポートやインターフェース改善により、  
これまで以上に使い易くなった業界屈指の編集ソリューションで、  
更なる高品質の作品を簡単に制作～

2016年2月4日(木) 東京 - Avid® ([NASDAQ: AVID](http://NASDAQ:AVID)) は、業界随一の実績を誇るビデオ編集ソフトウェア [Avid Media Composer®](#) の新バージョンを発表しました。この最新バージョンは、HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) ワークフローに対応したほか、キャッシュによる編集・再生中のパフォーマンスの向上、インターフェース・メニューのシンプル化など、プロフェッショナル・レベルの編集に対応する最も多機能で最も手頃なツールを提供します。

最新バージョンでは、今まで以上に簡単かつ直感的に操作・作業できるようツールを使い易く改善しました。インターフェースのメニューを合理的な序列に整理したことで、Media Composer のベテランユーザーも、Final Cut Pro や Premier Pro のユーザーも、効率的かつ直感的に作業することができ、編集はさらにシンプルで楽しくなります。

Media Composer の最新バージョンでは、Avid Resolution Independence のアーキテクチャのもと、高解像度制作ワークフローに加えて、HDR ワークフローに対応しました。メディア・プロフェッショナルは、最新テクノロジーを実装する Media Composer で、現在、そして今後の技術課題を克服することができます。

また、Media Composer の新バージョンでは、これまでの 2.5 倍の最大 64 のオーディオ・トラックを扱うことができるようになりました。また、キャッシュを割り当てることで高い編集・再生パフォーマンスを維持。純粋にストーリーに集中し、より迅速に作業することが可能な環境を提供します。

映画製作、テレビ、報道、ストリーミング・メディア制作のあらゆる分野において、プロフェッショナル・エディターが信頼する Media Composer は、高解像度制作ワークフローを加速、リアルタイム・コラボレーション、パワフルなメディア管理を提供し、時間がかかるタスクを排除して、ユーザーがストーリー作成に集中することを可能にします。Avid は Media Composer に新しいツールを継続的に発表することで、Avid Everywhere ビジョンを実現を推進しています。

### 販売について

Media Composerの新バージョンは、現在入手可能です。有効なアップグレード&サポート・プランまたはサブスクリプション・ライセンスをお持ちのMedia Composerユーザーは、最新バージョンを無償でダウンロードすることができます。詳細は[Avid製品販売代理店](#)にお問い合わせください。

### Media Composer 8.5 新機能:

Media Composer新バージョンの新機能は下記のとおりです。

- **インターフェース・メニューをシンプル化:** 古いメニュー項目を削除し、ユーザーエクスペリエンスを高めるためにメニューを整理・シンプルにしました。一部のメニューについては、より論理的にわかりやすい位置に移動。この改良により効率性がさらに向上し、より多くの時間をクリエイティブなストーリー作成に費やすことができます。
- **最大64のオーディオ・トラックをサポート:** これまでの24オーディオ・トラックサポートから、その2.5倍の最大64オーディオ・トラックをサポートしたことで、より大きく、豊かなサウンドトラックを作成できます。
- **HDRサポート:** 新バージョンのMedia Composerでは、HDR(ハイ・ダイナミック・レンジ)ワークフローをサポート。標準ビデオよりも広いダイナミック・レンジを表示する新しいカラー・スペックを維持することができ、HDRプロジェクト取り扱うことができます。
- **編集時のタイムラインのビジュアル・フィードバックを向上:** シンクロックしたトラックに対し、シンクローラーが使えるようになりました。これにより、トリミングしたときの状態がわかりやすくなります。また、トリムモードやセグメントモードでセグメントをドラッグするとき、セグメントがはっきり見えたままドラッグできるよう改良しました。
- **FrameFlex の Z 軸回転機能:** FrameFlex ソース設定にて、フレームボックスを Z 回転軸で回転させることが可能になりました。そのため、タイムライン内ではなく、ソースレベルで画像を 90°回転させたり、リフレームすることが可能です。
- **再生・編集中のレスポンスを向上:** 再生する全てのフレームおよびそれらのクリップに適用される全てのエフェクトが、RAMにキャッシュされるようになりました。これにより、複雑なシーケンスを複数回再生する場合も、スムーズな再生が可能でアンダーラン状態を回避できます。
- **数々の強化と改善により、より迅速かつより容易に作業:**
  - フルスクリーン再生モードでのパフォーマンスを向上
  - サブフレーム精度で放送波のオーディオ・ファイルをビデオ・クリップと簡単に同期
  - ひとつまたは複数のカスタム・コラムをメニューから簡単にビンへ追加
  - ビン・コラムにフレーム番号をコピー＆ペースト
  - 改善されたエフェクト・パレットで、エフェクトをより素早くかつ簡単に検索
  - プリセット・マネージャで、カスタム・プロジェクト・プリセットの名前を変更、編集、削除
  - OS X 10.11 (El Capitan)およびWindows 10コンピュータでMedia Composerを使用
  - 波形分析を使い、マスター・クリップをグループ化
  - タイムコードのバーンイン部分のフレーム番号を0からではなく1から開始
  - オーディオミキサーのサイズを変更したり、表示内容を変更可能
  - インポートまたはリンク時に、複数のオーディオ・トラックのフィールド・レコーダーのメタデータを維持

## Avid について

"[Avid Everywhere](#)"™ビジョンを通じて、Avid は、栄えある賞に輝く映画作品、テレビ番組、ニュース番組、スポーツイベントのテレビ放送から、音楽録音、ライブ・コンサートツアーにいたるまで、世界中が観て、聴いて、愛するメディアの協調制作、アセット保護、配信のためのデジタル・オーディオとビデオ・テクノロジーを開発し、業界で最もオープンで、革新的かつ包括

